

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	山口市における中心市街地の居住環境の改善と防災性の向上（第 期）											
計画の期間	平成30年度 ~ 平成34年度（5年間）										重点配分対象の該当	
交付対象	山口市											
計画の目標	中心市街地内の密集市街地における防災性の向上、居住環境の改善が、効果的かつ早期に図られるよう、狭隘道路の拡幅や広場の整備を促進する「山口駅前地区住宅市街地総合整備事業」及び、大型立体駐車場の除却、消防活動困難区域の減少に資する外周道路の新設・拡幅、災害時の帰宅困難者対策に資する公共空地の整備、延焼遮断帯の設置等を行う「黄金町地区第一種市街地再開発事業」について、両事業の連携を図りつつ推進する。											
全体事業費（百万円）	合計（A + B + C + D）	1,523	A	1,523	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A + B + C + D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30		H34
1	重点整備地区内における地蔵通り及び相物小路・銭湯小路の道路拡幅を行う。 地蔵通り及び相物小路・銭湯小路の道路拡幅に伴う緊急車両が通行可能な道路の整備率 緊急車両が通行可能な道路の整備率(%) = 実際の道路拡幅距離 m (H34) / 計画中の道路拡幅距離 m (H30)	0%	%	100%
2	重点整備地区内において広場等の整備を行う。 一人当たりの公園・広場面積 一人当たりの公園・広場面積 [m ² / 人] = 公園・広場面積 [m ²] / 地区内人口 [人]	1m ² / 人	m ² / 人	1m ² / 人
3	黄金町における老朽建築物の延床面積を減少させる。 黄金町における老朽建築物延床面積割合 黄金町における老朽建築物の延床面積割合 = 黄金町地区内の老朽建築物延床面積 / 黄金町地区内の全ての建築物延床面積	41%	%	19%
4	黄金町における消防活動困難区域の面積を減少させる。 消防活動困難区域：6m以上道路沿道の消火栓から、100m以遠の区域 黄金町における消防活動困難区域割合 黄金町における消防活動困難区域の面積割合 = 黄金町地区内の消防活動困難区域の面積 / 黄金町地区の面積	41%	%	24%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	○	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
山口市定住自立圏共生ビジョンに基づき実施される要素事業：A、第2期山口市中心市街地活性化基本計画に基づき実施される要素事業：A												

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H30	H31	R02	R03	R04				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
住環境整備事業	A16-001	住宅	一般	山口市	直接	山口市	-	-	山口駅前地区住宅市街地 総合整備事業	補償調査、用地取得、建物除 却、広場整備、道路整備 等	山口市						524	1.13	-	
	A16-002	住宅	一般	山口市	間接	山口市黄金 町地区市街 地再開発組 合	-	-	黄金町地区第一種市街地 再開発事業	共同住宅、駐車場、商業・業 務施設、公共空地 約1ha	山口市						999	1.06	-	
												小計						1,523		
												合計						1,523		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
社会資本総合整備計画「山口市における中心市街地の居住環境の改善と防災性の向上（第 期）」の事後評価委員会において、事後評価を実施する。	令和7年3月～令和7年4月
	公表の方法 山口市ホームページにより公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	「山口駅前地区住宅市街地総合整備事業」については、緊急車両が通行可能な道路整備率及び一人当たりの公園・広場面積が目標値を達成しなかったものの、老朽建築物を除却したことにより、居住環境の改善や防災性の向上が図られた。 「黄金町地区第一種市街地再開発事業」については、本事業にあわせて民間事業においても老朽建築物の除却が進んだことから、老朽建築物延床面積割合及び消防活動困難区域割合が目標値を達成した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
地蔵通りの沿線地権者との合意形成を図り、道路及び広場の整備を進め、中心市街地の居住環境の改善や防災性のより一層の向上に努めていく。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	目標値と実績値に差が出た要因
1	目標値 / 実績値	【目標値100.0、実績値80.76】地蔵通りについて、沿線地権者との合意形成が図られず、一部区間の整備ができなかったため。実績値は令和5年度事業完了時のもの。
	地蔵通り及び相物小路・銭湯小路の道路拡幅に伴う緊急車両が通行可能な道路の整備率	
1	最終目標値	100%
	最終実績値	81%
2	目標値 / 実績値	【目標値0.91、実績値0.85】地蔵通り沿線広場について、沿線地権者との合意形成が図られず、整備ができなかったため。また、マンションの供給が進み、地区内人口が増加したため。実績値は令和5年度事業完了時のもの。
	一人当たりの公園・広場面積	
2	最終目標値	1㎡ / 人
	最終実績値	1㎡ / 人
3	目標値 / 実績値	【目標値18.60、実績値17.00】民間事業による老朽建築物の除却が進んだため。
	黄金町における老朽建築物延床面積割合	
3	最終目標値	19%
	最終実績値	17%
4	目標値 / 実績値	【目標値24.44、実績値24.44】
	黄金町における消防活動困難区域割合	
4	最終目標値	24%
	最終実績値	24%